

平成25年度 就職・キャリア支援研修会[基礎コース] カリキュラム内容

研修名	就職・キャリア支援研修会[基礎コース]
日程・期間	8月1日(木)～3日(土)、3日間[東京] 9月4日(水)～6日(金)、3日間[大阪]
定員	100名
開催地区	2地区(東京・大阪)

研修日	No.	時間(分)	形式	プログラム名	目的	内容
1日目	①	100分	討議・発表	我が校における就職・キャリア支援の現状と課題	就職・キャリア支援の中核的な担当者としての実践的能力を向上させるための第一歩として、自校の現状を客観的に認識し、課題を分析する能力の重要性に気づく。	各大学等の就職・キャリア支援の現状と課題について情報を交換し合いながら、各大学等が直面する具体的現状と問題を分析して、「大学等における就職・キャリア支援」の改善に向けて取り組むべき課題と方向性についてグループで話し合う。その後全体で意見交換を行なう。
	②	80分	講義	就職・キャリア支援のあり方とは(グループ共有を含む)	大学等の現場で必ずしも明確に理解されないまま、実践が優先されている現状を認識し、就職・キャリア支援担当者として有効に機能するために、キャリア支援の理念を明確化し、キャリア教育、キャリアガイダンス、就職支援等の目的と意義を再確認する。	各大学等のキャリア支援が直面する課題を共有したうえで、講義を通して、大学等におけるキャリア支援の意義、及び大学設置基準の改正との関連について学ぶ。また、研修の全体像、キャリア支援に不可欠の能力、各研修内容の意味等について理解する。
	③	70分	演習	就職・キャリア支援担当者に必要なコミュニケーション・スキルⅠ	学生の理解と支援のために不可欠なコミュニケーションの基礎としての「かかわる」「観る」「聴く」「受け止める」「伝える」ことの重要性を認識し、自らのコミュニケーション・スキルが適切であるかどうかを点検することを通じて、就職・キャリア支援担当者に必要とされるコミュニケーション・スキルについて確認する。	「聴く」「受け止める」等の重要性、カウンセリングの基本的な技法についての講義を受け、エクササイズとロールプレイングを用いて、日常的な場面における人間関係や対話のパターンを体験的に学習する。
	④	70分	演習	就職・キャリア支援担当者に必要なコミュニケーション・スキルⅡ	③で確認したことを踏まえ、適切なコミュニケーション・スキルの基本を身につける。	ロールプレイングを用いて、日常的な場面における「ありがちなコミュニケーション」について体験的に学習する。
2日目	⑤	80分	演習	キャリア・カウンセリングのスキル	就職・キャリア支援におけるキャリア・カウンセリングの意義とその効果について理解を深め、キャリア・カウンセリングに必要な知識を習得し、カウンセリング・スキルを確認する。	1日目に学んだコミュニケーションの基本を振り返るとともに、基本的なカウンセリング・スキルの概略を学んだ後、キャリア・カウンセリングの実際場面が収録されたDVD教材の視聴を通じた就職・キャリア支援におけるカウンセリングの実際についての気づきや学びを、傾聴とフィードバックの技法を積極的に活用しながらお互いに発表し合う。
	⑥	90分	演習	キャリア・カウンセリング実習	キャリア・カウンセリングの実習を通じて、就職・キャリア支援担当者に必要とされるカウンセリング・スキルの向上を目指す。	実際の事例を扱ったロールプレイングを用いて、キャリア支援の中核となるカウンセリングのプロセスを体験的に学習する。
	⑦	200分	演習	キャリア・カウンセリング実践	これまで学んだカウンセリング・スキルを活用することによって、実践的なキャリア支援能力を高める。	就職・キャリア支援の現場でよくある情報提供や、意思決定支援の場面を取り上げ、グループ討議やロールプレイングを用いて、必要とされる能力を確認するとともに、キャリア・カウンセリングのすすめ方を学ぶ。
3日目	⑧	180分	演習	グループを活用した支援能力の向上	就職・キャリア支援における「グループ支援(グループを活用した支援)」の意義についての理解を深めるとともに、グループ支援の効果性とは何か、効果性を高めるためのポイントを体感し、グループという形態を支援の現場で活用するための要点をつかむ。	グループ支援の意義やポイントを学び、いくつかの模擬的な想定事例(場面)について、グループで検討を行い、現場での実践につなげるためのより具体的な気づきやヒントを相互に共有する。
	⑨	80分	質疑・総括	就職・キャリア支援能力の向上	3日間の研修の成果と今後の自分の課題を確認し、研修中に十分理解できなかったことを解決して、現場の活動に積極的に取り組む姿勢を確認する。	前半は、各自で3日間の各プログラムの目的と学習した内容を振り返る。続いて、各自の振り返りをグループで共有することで、受講者が互いに協力して、研修の効果を高める話し合いをするとともに、研修内容についての理解の不十分な内容を明らかにし、講師への質問内容を決定する。後半は、受講者からの質問、疑問に対して講師が回答する。最後に各講師から、研修全体の総括を述べる。